

学生が語る：実体験教育から何を得たか

～プログラミングやロボットはなぜ子供や若者を引きつけるのか～

▼これまでスーパー連携大学コンソーシアムは実体験教育の充実を訴えてきました。その効果を確認するため、前回のUNIIC/INCでは、3大学が地元の小中高生を対象に開催しているプログラミング教育・ロボット教育を取り上げました。

▼今回は、これらの取組に指導員・メンター・講師として参加している学生達の生の声を直接聞いて語り合い、学生たちの成長にどのような効果があったのかを知り、さらなる発展のヒントを得たいと思います。

▼また、パネルディスカッションでは、企業人や大学人からコメントを頂き、今後の3大学間連携や企業と大学間連携の可能性も探ります。

室蘭工業大学 ロボットアリーナ	指導員学生／オリジナル教材の提案・作成他
秋田県立大学 プログラミング教育研究会	メンター学生／プログラミングの指導担当
電気通信大学 電通大プログラミング教室	講師学生／毎週の授業、準備、教材作成

*日時 2021年10月29日 (金) 16:30～18:30 / 参加費 無料

*方法 オンライン (zoom)

*申込 <https://bit.ly/3obxgXL>



*プログラム

16:30～16:40 そうなんだ スーパー連携大学コンソーシアム 梶谷 誠 会長

[活動報告]

16:40～16:50 室蘭工業大学ロボットアリーナ 指導員学生

16:50～17:00 秋田県子どもプログラミング教育研究会 メンター学生

17:00～17:10 電通大プログラミング教室 学生講師

[語り合い]

17:10～18:20 視聴者参加型ディスカッション

モデレータ 安部 博文 電通大 客員教授

パネリスト 正会員の3大学より、指導員学生、メンター学生、講師学生

18:20～18:25 閉会挨拶 秋田県立大学 小林 淳一 学長 (予定)

18:25～18:30 アンケート、閉会

主催 一般社団法人スーパー連携大学コンソーシアム

<https://sites.google.com/view/super-daigaku/>